

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

舞岡柏尾地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

当ケアプラザの担当圏域は、高齢化率が 26.5%と戸塚区全体の 24.25%より高いですが、要介護認定率は 15.86%と区平均の 16.18%より低くなっています（平成 28 年9 月データ）。ほとんどの地域で年々要介護認定率が上がっている中、柏尾連合の要介護認定率は平成 22 年度の 14.2%から平成 26 年度の 13.2%と低下しており、介護予防に資する地域活動が盛んであることが、数字として表れているものと思われま
す。舞岡連合では、南舞岡の高齢化率が 35.9%と区内でも有数の高齢化が進んだ地域ですが、インフォーマルサービスとしての住民同士の支え合い（ミニデイ等）は盛んであり、そのまちらしい「地域包括ケアシステム」の構築について、可能性を秘めた地域であると考えます。

一方担い手の高齢化や固定化といった課題もあり、次世代の育成や組織の活性化について、地域の皆様とともに解決策を議論していきます。「地域ケア会議」や「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」「運営協議会」等既存の会議を活用しながら、行政や区社協などとも連携を深め、生活支援体制整備を進めました。通所介護や居宅介護支援事業所においても、「地域包括ケアシステム」の一翼を担う存在であることを意識してサービス提供と地域貢献を行いました。

担当圏域の中で、バスを乗り継がないとケアプラザに来られない上柏尾や南舞岡については、高齢化の進んだ地域でもあり、町内会館をお借りしたり地域の事業所などと連携して、より身近な場所での出張事業を増やしました。

また、エリア内に新しいマンションが建設されたり、小中学校と地域の交流も盛んなことから、多世代が活躍できる拠点として、地域ケアプラザをこれまで以上に活用していただけるようにPRを続けました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 1 地域包括支援センター「福祉総合相談まいか」における相談・訪問件数は、前年同月比（第三四半期まで）で 122%と増えています（1132⇒1264）。
- 2 子育て・障害児者巣相談件数は、前月同月比（第三四半期まで）で、143%増えています（21⇒30）。
- 3 事業所や医療機関、インフォーマルサービスなどの情報を集約した「いきいきマップ」を改訂しました。
- 4 担当者が不在の際も、他部門の職員が丁寧に対応しました。

(3) 各事業の連携

「5 職種会議」は毎月開催し、地域の状況や課題、各事業の進捗状況を共有しています。また月に 1 度の職員会議において、通所介護と居宅介護支援も含めた情報共有を行っています。

ケアプラザまつりやボランティア交流会などは、全事業が協力して行っています。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

当法人には、本部に研修センターがあり、職種、入社年数、職制等を考慮した研修を体系的に実施しています。29年度も各職員が自らの課題にあった研修を受講しました。

(公正中立性の確保のための一例として)「居宅介護支援事業所新規依頼表」を作成しており、お客様へ情報したツールや選定理由などを記録しています。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 1 連合町内会や地区社協、民児協などの定例会に参加し、情報の収集と共有を行いました。
- 2 エリア内のお祭り、敬老会、運動会、餅つき大会、防災訓練等に参加し、地域との良好な関係を構築しました。
- 3 「地域ケア会議」や「とつかハートプラン(地域福祉保健計画)」の推進などを通して、地域の皆様が主体となった「地域包括ケアシステム」の構築を支援しました。
- 4 ケアプラザまつりでは参加者やボランティア、協力団体など「まつり」を通して世代や団体を超えた交流が活発に行われました。
- 5 舞岡中学校からの職業体験を受け入れ、個別支援級とあわせて8名がデイサービスや清掃の仕事を体験しました。他にも舞岡小学校や南舞岡小学校の児童の見学受け入れをきっかけとして担任の先生とのつながりができ、童唱会にて劇の発表をしてもらうことができました。
- 6 地域の作業所である「やまぶき工房」との交流会を継続し、ケアプラザ登録団体の「キッチン青空」の方に加え「楽チンクラブ」の方にもボランティアとして参加してもらうことができました。

(6) 区行政との協働

- 1 毎月の「地域包括支援センターカンファレンス」のみならず、日常的に情報共有、支援方法の検討を行いました。
- 2 「とつかハートプラン」に関して、地域の実情を鑑みて推進に協力しました。また「ケアプラザまつり」や29年度より初めて参加した「舞岡地区センターまつり」等の機会に「ハートプラン」の周知を行いました。
- 3 日頃の運営に関する相談や緊急を要する修繕等にあたり、関係部署との連携は密に行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 1 各事業にて、目的に応じた参加者アンケートを実施し、事業内容に反映させました。
- 2 28年度末に介護予防事業から自主化した「楽チンクラブ」(男性料理教室)への後方支援として、やまぶき工房との「施設交流会」や「男の教室」にてボランティアや講師での協力をしてもらいました。
- 3 生活支援コーディネーターとの共催事業として定年後の男性をターゲットとした「男の教室」を開催しました。ボランティア活動に興味のある男性とケアプラザとのつながりが出来たことが成果でした。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 貸室利用団体交流会を開催し、改めて貸館ルールについて共有、情報提供しました。貸館利用者からの意見をもとに、30日前の予約解禁日の早見表を作成、配布しました。
- 2 ケアプラザまつりでは新たな団体へ参加を呼びかけ、福祉用具センターや地域のサロンである「花りんの樹の下で」の参加がありました。
- 3 広報誌やチラシの配布先を見直し、地域の理容室やスーパーなどに協力を呼びかけました。ホームページの活用も積極的に行いました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 男性の地域デビュー講座である「男の教室」参加者の中から「プチボランティア」の活動に興味のある男性が見つかりました。今後予定を合わせて参加できるように引き続きコーディネートしていきます。
- 2 「ボランティア交流会」では、当日の講師や食事の提供にもボランティアの方に協力していただきました。食事を囲んでの交流はより一層会話が弾み交流が深まりました。
- 3 「よこはまシニアボランティアポイント登録会」の参加者から、新たに子育て支援事業の「まいまいクラブ」へのボランティアへ繋がった方がいました。また定年後の男性をターゲットとした「男の教室」では、ボランティア活動に興味のある男性とケアプラザとのつながりが出来ました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1- (1) コーディネーター共通研修に継続して参加し、基礎的な知識や最新お制度情報について学びました。
(2) 会合や夏祭りなどのイベント、サロン等への参加を通して、参加者の方の声や雰囲気、また担い手の方の思いなどを知ることができました。
(3) エリア内の人口分布や要介護者の割合などの最新データを収集し、自主事業の検討へ役立てました。
- 2- (1) 地域の皆様と共有すべき情報を必要に応じて提供することを意識して会合や会議に参加しました。
(2) ホームページを随時更新し、事業の告知だけでなく、事業の実施風景も報告し、ケアプラザの雰囲気が伝えられるように工夫しました。広報誌「まいか」のレイアウトを工夫し、より多くの情報を載せられるように工夫しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

常に5職種で連携し、地域の課題や強みの把握に努めました。
昨年引き続きNPO法人による居場所づくり（花りんの樹の下で）に協力しました。また1層の生活支援コーディネーターとは、団地支援の冊子作り（地域ケア会議の成果物）や社会福祉法人の地域貢献による買い物支援などについて協働しています。
29年度は、よこはまシニアボランティアポイント登録会を3回開催し、男性地域デビュー講座を4回シリーズで行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1、2 各地域の様々な会議や高齢者食事会、夏祭り、拠点防災訓練等に参加するとともに「ハートプラン推進会議」「地域ケア会議」などで課題共有や情報交換を行いました。
- 3 5職種会議等でそれぞれの職種からの意見を持ち寄り協働して地域させアセスメントを行い、その情報を共有することに努めました。
- 4 エリア変更に伴い、主任ケアマネジャーを中心に、地域の方の協力を得ながら社会資源の把握に努め、新エリアを含めて「いきいきマップ」の改訂を行いました。
- 5 それぞれの自主事業の成果を明確にすると共にアンケートから得られたニーズや反省会などを5職種会議や回覧を通じて共有しました。

(3) 連携・協議の場

連合地区ごとの地域支援チームの一員として区役所・区社協と同じ視点で支援できるように定期的に話し合いを行いました。

柏尾連合では7月と2月に「ハートプラン推進委員会」に参加し、地域の皆様と様々な事項に対し連携と協働を行っています。舞岡連合では「ハートプラン推進ネットワーク情報共有連絡会」に参加予定でしたが、地域のご都合で中止となりました。今後の進め方については、関係者間で検討していきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

担当圏域を超えての移動販売について、地域住民、第1層生活支援コーディネーター、企業と検討していましたが、企業側の事情により準備段階で実施不可能との結果になりました。

同法人内においては生活支援コーディネーターの専門職会議を定期的に開催し、勉強会や事例報告などにより課題の共有を図っています。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 1 毎月区役所とのカンファレンス、所内の5職会議を行い、ケアマネサロン、居宅介護支援事業所連絡会等を通して、支援者間のネットワークを図りました。
- 2 11月に個別地域ケア会議を開催し、これまで扱ったことのないエリアについての話し合いを持つことができました。また12月には、包括レベル地域ケア会議を開催しました。警察の方にも参加していただき「見守りネットワーク」や「ネットワーク訪問事業」などの地域活動とともに顔の見える関係づくりを目指しました。
- 3 民児協・地区社協・地域のサロン活動などに毎月参加し地域の情報収集や相談に応じました。偏りなく包括全員で分担し、幅広い視点で地域のニーズを把握するよう努めました。
- 4 「花りんの木」「サロン柏舞」とともにほぼ毎月開催して、季節の行事やレク・音楽会など地域の方と協働して行いました。「サロン柏舞」はふれあい助成金の対象となりました。

② 実態把握

- 1 受け付けた相談はエリアごとに集計、分析して実態を把握し、今後の事業計画などに役立てました。
- 2 連合町内会ごとに詳細なエリアアセスメントシートを作成しました。本年度からは5職種それぞれの視点からの分析を新たに加えました。
- 3 連合町内会、民児協、地区社協、老人会等に毎月参加し、地域の情報収集と現状把握に努めました。
- 4 地域の方のご意見や情報も集約して、5月には「いきいきマップ」を南舞岡地区を含めたものに改訂し、配布しました。相談活動などに役立てています。

③ 総合相談支援

- 1 地域の方々の相談に対し、ご本人の意向をしっかりと捉え、ご家族の状況や地域との関係などご本人を取り巻く環境にも配慮した対応をしました。
- 2 地域の方々の多岐にわたる相談に対し、専門職として最新の知識や情報を提供し、必要に応じて各関係機関や制度につなげられるように、様々な研修に参加して研鑽を積むとともに、幅広い情報収集に努めました。他の専門職が参加した研修についても回覧し、情報共有しました。地域のインフォーマルサービスについても積極的にご紹介しました。
- 3 ケアプラザまでのアクセスが不便な地域も含め、食事会やサロン、老人会などに出向いてケアプラザの周知を行い、相談を受け付けました。また、ご自宅への訪問も積極的に行いました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1 地域のミニデイにてエンディングノートの講座を開催しました。また、町内会館にて「いきいきシニア講座3回シリーズ(生前整理、相続・遺言講座、消費者被害)」を開催しました。平成30年2月には老人会にて任意後見制度の講座を行いました。
- 2 法律が絡んだご相談については、相談者とサポートネットに参加されている司法書士をつなぎ、相談者の問題解決に努めました。
- 3 「エンジョイまいか塾」にて「終活・相続・遺言講座」を開催しました。

② 高齢者虐待への対応

- 1 虐待があったケース、虐待が疑われるケースに関しては、常に行政等と連携し、定期訪問するなど継続的に支援しました。
- 2 老人会の参加を対象に高齢者虐待の講座を行いました。講座では、虐待の早期発見のためには地域住民の小さな気付きが大切であることなどをお伝えしました。
- 3 介護者のつどいの名称を「ふきのとう」に変更し、隔月で開催しました。参加者には事前に個別でお声かけしました。

③ 認知症

- (1) (2) 認知症サポーター養成講座をケアプラザにて開催しました。また、地域ケア会議や認知症予防講座と連動し、1月には上柏尾地区、2月には南舞岡地区へ出向いて開催しました。2月は若い世代の参加も見込んで休日の開催としました。29年度はエリアの住民にキャラバンメイトになっていただき、協力して認知症の理解と対応を広めていくことができました。
- (3) エリア内の認知症対応型通所介護等のサービス事業所の運営会議に参加し、支援の検討や情報提供をさせていただきました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 3月にケアマネジャーと民生委員の勉強会・交流会として「居宅介護支援事業所連絡会」を開催しました。区役所職員を講師として迎え「地域包括ケアシステム」について学び、それぞれの立場からの地域のニーズや状況を話し合い、地域づくりの検討をしました。その中で連携の推進を図りました。
- 2 地区センター・南舞岡自治会・舞岡台自治会と共催で、地域住民に向けて「介護保険や介護予防日常生活支援総合事業」についての講座を行いました。地域のインフォーマルサービス等の情報提供を行い、地域活動への参加の必要性も伝えることができました。
また「いきいきマップ」の更新に伴い、関係機関を訪問し、地域情報収集に努め、連携の推進を行いました。

② 医療・介護の連携推進支援

- 1 「エンジョイまいか塾」でエリア内の訪問看護師に、自宅で最期まで暮らすための医療と介護の連携について講義していただき、地域での協力関係の強化をしました。地域ケア会議では、医療機関やケアマネジャーに参加を依頼し、専門的立場からの意見をいただきました。
- 2 「ほーめっと（戸塚区在宅医療連絡会）」や「戸塚区在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修」においてファシリテーターとして協力し、他職種連携に努めました。また、区訪問介護連絡会に幹事として参加し、医師と訪問看護師による在宅医療の研修を開催して、医療と介護の連携に努めました。
「ケアマネット戸塚（戸塚区ケアマネ連絡会）」において、11 包括支援センター主任ケアマネジャー主催で「医療連携研修」を開催しました。横浜市在宅リハビリテーション事業の機能や役割について講義していただき、連携と今後の自立支援ケアマネジメントにいかせるよう支援しました。

③ ケアマネジャー支援

- 1 ケアマネジャーから困難事例の相談を受けた際は、同行訪問や区担当者とのカンファレンス等を積極的に行い支援しました。また、毎月エリアのケアマネジャー事業所を訪問し、情報提供や相談に努めました。
- 2 ケアマネジャーのサロンは年4回開催しました（1回は他包括と共催）。インシデントプロセスによる事例検討会を中心に、介護予防・日常生活支援総合事業や制度改正についての情報提供等を行いました。事例検討では、グループスーパービジョンの定着に力を入れました。また「いきいきマップ」を改訂し、配布しました。その中で、インフォーマルサービスの情報提供を行い、ケアプランへの位置付けを促しました。
3月には、11 包括支援センターの主任ケアマネジャー主催にて「居宅主任ケアマネジャー研修」を開催しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1 地域包括ケアシステムの構築を推進するため、各種会議との連動性を持たせるように努めました。
- 2 上柏尾地区にて個別地域ケア会議を行い、課題となった認知症への対応について各団体に働きかけ、認知症予防講座やサポーター養成講座につなげることができました。舞岡地区では、包括レベルの地域ケア会議を開催し、昨年度に引き続きネットワーク構築をテーマとしました。各団体や見守りネット登録事業者等を訪問し意見を求めるとともに、警察などに新たに参加していただき、エリアの状況を把握して、ネットワーク構築を推進することができました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 1 お客様への分かりやすい説明を心がけ、ケアマネジャーやサービス事業所からの疑問等へ適切に対応しました。
また、区との共催で「介護予防支援・介護予防ケアマネジメント従事者研修」を開催し、ケアマネサロンでも説明の機会を持ちました。
- 2 地域住民の方々の活動を紹介し、積極的にケアプランへの位置付けを行いました。
- 3 委託した個別ケースにおいても、担当者会議等に積極的に出席して、ケアマネジャーと連携し、自立に向けた介護予防ケアマネジメントの実現に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 1 「健康づくりまいかし」や「サロン柏舞」にて、ロコモ予防、口腔機能向上、栄養改善のための講座を行い、介護予防の普及啓発に努めました。また、1月には会身柏尾地区で、2月には南舞岡地区にて、認知症サポーター養成講座に連動した認知症予防講座「コグニサイズ」を開催しました。
- 2 介護予防講座として、園芸療法を取り入れた「ハンギングバスケットを作ろう」を開催し、今までケアプラザに来たことがない60代の方が多数参加され、介護予防の普及啓発ができました。
- 3 地域ケア会議の中で介護予防を進めてきた「さくら会」や「ハッピー3」（元気づくりステーション）において、区役所と協力し、リハ職を講師に迎え講座を行うなど、支援を行いました。
- 4 地域で介護予防を推進するために活躍している介護予防ボランティア「伝道師」に向けて、3回フォローアップを行いました。

5 その他

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

ケアプラザは、高齢者、障害者、乳幼児等、様々な方が利用される施設であるため、安全確保を最優先とするとともに、快適に利用していただけるよう、保守点検、清掃、衛生管理に努めました。

開所依頼17年経過し、近年経年劣化による修繕も増えていますが、迅速に区役所等へ相談し、適切に対応しました。

また緑豊かな庭が敷地内にあるため、近隣の方々や放課後の子どもたちが遊びに来るなど、地域に親しまれた施設となっています。この環境を維持するため、定期的な植栽管理とともに、貸室利用団体や有志の皆様のご協力で、年2階の「草取りボランティア」活動を行っていただきました。これにより、地域の皆様にとってケアプラザを「自分たちの施設」として認識していただくことに繋がっています。

(2) 効率的な運営への取組について

労務・経理等の事務処理については、法人本部での一括処理など業務や役割の分担・連携を図りながら、業務の効率化を図りました。また、建物管理、保守業者の選定にあたっては、経理規程に従い、入札や見積もり合わせ等を適切行って、経費の削減に努めました。その中で、市内の中小企業への優先発注も行いました。

(3) 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則・苦情対応マニュアルを作成しており、それに基づいてケアプラザにも苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置しています。担当職員が不在の際にも、お客様からのご意見・ご要望、苦情等については、迅速に対応しました。また、公正・中立の立場から、あっせん調整を行う第三者委員も設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整えています。

これまで同様に、ケアプラザ内に「ご意見箱」を設置するとともに、各事業において「お客様アンケート」も行いました。その結果や回答については、掲示板や広報誌において公表しました。

29年度も、誰もが速やかに対応できることを目的に、職員全員を対象とした「接遇マナー研修」を実施しました。また法人本部において、法人内施設で受け付けたご意見、ご要望、苦情等を分析しており、情報共有しています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザの各事業を実施していくには、事故、災害、情報セキュリティなど、様々な場面で適切な対応が必要となりますが、いつでも誰でも関係先への連絡や対応ができるように、手順を1冊のファイルにまとめています。法人全体でも、防災マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備しています。それらに基づき、29年度も地震・火災等の備えとして、年6回の避難訓練を実施するとともに、戸塚消防出張所に依頼して、AED及び初期消火訓練を実施しました。

また、地域の一員として、地域の拠点防災訓練に参加しました。

特別避難場所としては、応急備蓄の数量や保管状態の確認を行い、災害時に有効に活用でき体制を整えました。

(5) 事故防止への取組について

ヒヤリハットや事故事例の検討により、事故の未然防止に努めました。また法人本部に毎月事故報告が集まる仕組みができており、その内容を各施設での会議等で検討しました。また通所介護においては、事故防止の研修や勉強会を定期的に行いました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の個人情報保護規程で基本的な事項を定め、研修等で周知徹底を図りました。FAXの誤送信や郵送の誤送付、通所介護における誤配付の防止については、ダブルチェック体制をとり、細心の注意を払って対応しました。広報等において個人情報が特定される記載については、必ず書面及び口頭で同意をいただいてから掲載しました。また個人情報保護の重要性については、新人のみならず、現任職員に対しても、日々のミーティングや研修等で周知徹底しました。

(7) 情報公開への取組について

ケアプラザにおいて情報開示請求があった場合は、法人で定められた情報公開規程に則り対応します（29年度は実績なし）。またパンフレットやホームページ等を通じて、当法人の各事業に関する情報などを幅広く公表しました。

(8) 人権啓発への取組について

当法人では、29年度も人権に関する研修を実施しました。また、職場においても、人権に関する研修を開催するとともに、お客様お一人お一人の立場や価値観について、丁寧に確認しながら業務を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

29年度も「ヨコハマ3R夢」に則り、省エネルギーや、ごみの減量化などを推進し、節電・節水もこまめに行いました。また横浜市の施策である太陽光パネル設置施設であるため、緊急時の電力供給のほか平時の省エネにも活用させていただきました。

送迎等に用いている車両については、アイドリングストップを励行しました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師 1 名、社会福祉士 2 名、主任ケアマネジャー1 名、介護支援専門員 2 名
(非常勤専任 1 名、非常勤兼務 1 名)

《目標に対する成果等》

一人ひとりの心身の状態や環境に応じて、お客様と計画作成者がともに目標に向けて取り組むことを大切にし、きめ細やかに対応しました。その中で、日常生活支援・総合事業や地域のインフォーマルサービス等の把握と育成にも努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険のみに頼らない地域の力（インフォーマルサービス等）を活かした介護予防プランを作成しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
144	147	149	147	150	151
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	172	174	172	169	153

●居宅介護支援事業

《職員体制》

主任ケアマネジャー（管理者）1名、ケアマネジャー3名（常勤専従2名、非常勤兼務1名）

《目標に対する成果等》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域の社会資源（インフォーマルサービス含む）とも連携したケアプランの作成を行いました。また地域包括支援センターと密に連携し、地域ケア会議などを通じてお客様の住む町の課題や強みを把握しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として24時間連絡が取れる体制となっています。また法人内での研修体制も整備されており、適切で質の高いケアプランを作成しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
130.5	130	135	135	133.5	130.5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
130	135.5	135.5	133	132.5	132.5

● 通所介護

《提供するサービス内容》

通所介護計画書の作成、生活相談、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、入浴、個別機能訓練、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	692円
（要介護2）	817円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1,077円
（要介護5）	1,206円

● 食費負担 700円

●入浴加算 54円 ●個別機能訓練加算 60円 ●口腔機能訓練加算 161円

●サービス提供体制加算（Ⅱ）7円

●介護職員処遇改善加算（Ⅰ）1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する額

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:10～ 16:15

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）生活相談員 4名（常勤兼務）看護職員 5名（非常勤兼務）
介護職員 22名（常勤兼務 1名、非常勤兼務 21名）調理員 5名（非常勤兼務）
運転手 7名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

個別機能訓練や認知症予防プログラム等を充実させ、お客様が選択できるように多様なサークル活動も活発に行い、お客様満足度の高いサービスを実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

トレーニングマシンを活用した機能訓練、認知症予防プログラム、各種サークル活動等の充実、バランスのとれた手作りの食事、自然に恵まれた広い庭での歩行訓練等を実施してお客様のニーズに応えました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
706	773	743	755	773	755
10月	11月	12月	1月	2月	3月
704	710	730	685	676	741

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

予防通所介護計画書等の作成、生活相談、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、入浴、運動器訓練、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 1,766円

（要支援1） 1,766円

（要支援2） 3,621円

● 食費負担 700円

● 運動機能訓練加算 242円 ● 口腔機能向上加算 161円

● サービス提供体制加算（Ⅱ）要支援1 26円 要支援2 52円

● 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する額

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:10 ~ 16:15

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）生活相談員 4名（常勤兼務）看護職員 5名（非常勤兼務）

介護職員 22名（常勤兼務 1名、非常勤兼務 21名）調理員 5名（非常勤兼務）

運転手 7名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

お客様満足度の高い自立に向けたサービス提供をしました。また「いつまでも社会の一員としてその人らしく」お暮しいただけるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

トレーニングマシンを活用した機能訓練、認知症予防プログラム、各種サークル活動等の充実、バランスのとれた手作りの食事、自然に恵まれた広い庭での歩行訓練等を実施してお客様のニーズに応えました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
25	24	23	22	22	23
10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	24	24	23	22	27

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

認知症対応型通所介護計画書の作成、生活相談、機能訓練、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の把握、送迎、食事、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要介護1) 1,072円
 (要介護2) 1,188円
 (要介護3) 1,305円
 (要介護4) 1,422円
 (要介護5) 1,539円

● 食費負担 700円

● 個別機能訓練加算 30円 ● 口腔機能訓練加算 164円 ● 入浴介助 55円

● サービス提供体制加算（Ⅰ）13円

● 介護職員処遇改善加算（Ⅱ）1か月のご利用単位数に1000分の104に相当する額

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

管理者1名（常勤兼務）生活相談員4名（常勤兼務）看護職員5名（非常勤兼務）
 介護職員22名（常勤兼務1名、非常勤兼務21名）調理員5名（非常勤兼務）
 運転手7名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

お客様お一人おひとりに合わせた個別性のある機能訓練を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

認知症に対応した様々なプログラムや少人数ならではの生活機能訓練が充実しています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
189	204	188	208	212	198
10月	11月	12月	1月	2月	3月
205	206	184	159	167	193

平成29年度「横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,337,345	216,823	15,120,522	15,120,522	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	183,900	183,900	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	26,870	26,870	
印刷代	0		0	7,460	7,460	
自動販売機手数料	0		0	19,200	19,200	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当分)	0		0	210	210	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,765,066		1,765,066	1,765,066	0	
収入合計	20,689,911	216,823	20,473,088	20,683,858	210,770	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,676,635	308,792	
本俸	8,859,745		8,859,745	8,047,179	812,566	
社会保険料	1,296,256		1,296,256	1,209,347	86,909	
手当計	1,069,200		1,069,200	2,068,616	999,416	
健康診断費	43,801		43,801	35,612	8,189	
勤労者福祉共済掛金	21,756		21,756	0	21,756	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	307,308		307,308	305,938	1,370	
その他	387,361		387,361	9,943	377,418	
事務費	1,112,000	0	1,112,000	1,637,113	525,113	
旅費	12,611		12,611	12,611	0	
消耗品費	166,584		166,584	166,584	0	
会議購い費	0		0	0	0	
印刷製本費	208,187		208,187	208,187	0	
通信費	342,676		342,676	342,676	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	19,200	19,200	
横浜市への支払分	0		0	19,200	19,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	364,281	364,281	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	21,370		21,370	21,370	0	
職員等研修費	7,385		7,385	7,385	0	
振込手数料	42,820		42,820	42,820	0	
リース料	32,215		32,215	32,215	0	
手数料	216		216	216	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	277,936		277,936	419,568	141,632	
事業費	2,024,000	0	2,024,000	467,185	1,556,815	
運営協議会経費	42,000		42,000	18,464	23,536	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,982,000		1,982,000	448,721	1,533,279	
管理費	4,609,650	11,442	4,621,092	4,513,459	2,893,508	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,509,208	0	2,509,208	2,785,875	2,509,208	
電気料金	828,521		828,521		828,521	
ガス料金	710,363		710,363		710,363	内訳が一致していません
水道料金	970,324		970,324		970,324	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	474,000	11,442	485,442	257,177	228,265	予算・指定額
機械整備費	116,104		116,104	116,104	0	
設備保全費	1,032,571	0	1,032,571	1,032,571	0	
空調衛生設備保守	228,445		228,445	228,445	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	77,403		77,403	77,403	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	726,723		726,723	726,723	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	477,767		477,767	321,732	156,035	
公租公課	958,834	0	958,834	934,130	24,704	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	934,130	24,704	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	20,689,911	11,442	20,701,353	19,228,522	4,258,706	
差引	0	228,265	228,265	1,455,336	4,469,476	

自主事業費収入	1,982,000		1,982,000	0	1,982,000	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	1,982,000		1,982,000	448,721	1,533,279	
自主事業収支	0	0	0	448,721	448,721	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	19,200	19,200	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	19,200	19,200	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「舞岡柏尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,982,000	186,683	28,795,317	28,795,317	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,257,895	4,531,105	4,531,105	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	10,650	10,650	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	12,800	12,800	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	42,650	42,650	
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	0	0	0	185,030	185,030	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	185,030	185,030	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,005,643		2,005,643	2,005,643	0	
収入合計	36,927,643	1,444,578	35,483,065	35,734,195	251,130	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,956,293	0	32,956,293	30,013,666	2,942,627	
本俸	22,358,174		22,358,174	16,649,829	5,708,345	
社会保険料	3,980,932		3,980,932	3,980,932	0	
手当計	5,805,001		5,805,001	8,578,975	2,773,974	
健康診断費	48,548		48,548	48,548	0	
勤労者福祉共済掛金	8,256		8,256	0	8,256	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	717,563		717,563	717,563	0	
その他	37,819		37,819	37,819	0	
事務費	456,000	0	456,000	1,329,565	286,773	
旅費	27,192		27,192	27,192	0	
消耗品費	61,027		61,027	61,027	0	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	148,145		148,145	148,145	0	
通信費	223,867		223,867	223,867	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	21,370		21,370	21,370	0	
職員等研修費	59,986		59,986	59,986	0	
振込手数料	42,984		42,984	42,984	0	
リース料	50,841		50,841	50,841	0	
手数料	216		216	216	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	407,164		407,164	693,937	286,773	
事業費	2,290,000	0	2,290,000	847,602	1,442,398	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	1,200,000		1,200,000	20,081	1,179,919	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	166,948	15,948	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	156,573	152,427	予算:指定額
管理費	1,225,350	0	1,225,350	1,196,728	166,961	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	602,210	0	602,210	740,549	0	
電気料金	200,252		200,252	200,252	0	
ガス料金	107,888		107,888	107,888	0	内訳が一致していません
水道料金	294,070		294,070	294,070	0	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	65,317	60,683	予算:指定額
機械警備費	30,863		30,863	30,863	0	
設備保全費	274,478	0	274,478	274,478	0	
空調衛生設備保守	60,725		60,725	60,725	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	20,575		20,575	20,575	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	193,178		193,178	193,178	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	191,799		191,799	85,521	106,278	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当施設設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	36,927,643	0	36,927,643	33,387,561	4,265,213	
差引	0	1,444,578	1,444,578	2,346,634	4,516,343	

自主事業費収入	1,660,000			66,100		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,660,000			343,602		
自主事業収支	0			277,502		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 舞岡柏尾地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	10667	23715	80865
その他		0	0	7900	64
介護予防ケアマネジメント 費		0	0	0	0
事業・負担金収入		0	0	7356	64
その他		0	0	544	0
収入合計(A)		10667	23715	88765	8673
支出	人件費	2515	21927	68782	0
	事務費	14	1742	7654	0
	事業費	0	40	9424	0
	管理費	0	0	6328	0
	その他	5769	0	498	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	5769	0	0	0
	その他	0	0	498	0
支出合計(B)		8298	23709	92686	0
収支 (A) - (B)		2369	6	-3921	8673

平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名

舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
あおぞら会	高齢者	23024	地活						
	417		包括	865	10650		7807	3708	
	50円(1回のみ100円)		生活	859	10650		7801	3708	
よこはまシニアボランティアポイント事業ボランティア登録研修会	高齢者	0	地活						
	33		包括						
	なし		生活						
男の教室	高齢者	41692	地活						
	34		包括						
	500円		生活	19692	22000		41008	684	
男の教室同窓会	高齢者	10812	地活						
	13		包括						
	500円		生活	812	10000		10082	234	
いきいきシニア講座	高齢者	0	地活						
	36		包括						
	なし		生活						
介護者のつどい(ふきのとう)	高齢者	178	地活						
	3		包括	178				178	
	なし		生活						
ふれあいサロン	高齢者	116499	地活	57199	59300		3341	71245	41913
	235		包括						
	100円~300円		生活						
歌声サロン~童唱会~	高齢者	58109	地活	4709	53400		40092	9017	9000
	471		包括						
	100円		生活						
まいまいクラブ	乳幼児、保護者	51988	地活	35588	16400		40864	6282	4842
	282		包括						
	無料~300円		生活						
草取りボランティア	地域	31500	地活	31500	0		0	9108	22392
	92		包括						
	-		生活						
舞柏ケアプラザまつり	地域	56707	地活	38707		18000	0	20732	35975
	1000		包括						
	-		生活						
学び場☆舞柏	小学生	48045	地活	32245	15800		33363	13800	882
	49		包括						
	200円~500円		生活						
ベビーマッサージ	乳幼児、保護者	4634	地活	2134	2500		4454	0	180
	10		包括						
	500円		生活						
ボランティア交流会	地域	19291	地活		0		0	19291	0
	32		包括						
	-		生活						
おもちゃの広場	乳幼児、保護者	6630	地活	5930	700		5568	0	1062
	19		包括						
	100円		生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
大人のリフレッシュ講座	地域、高齢者	53833	地活	36033	17800		13363	40254	216
	12		包括						
	1000円～1200円		生活						
調理連絡会	地域	1485	地活	1485				1485	
	13		包括						
	-		生活						
ホッとサロン	ケアマネジャー	2025	地活						
	15		包括	2025					2025
			生活						
エンジョイまいか塾	地域	2348	地活						
	111		包括	2348					2348
			生活						
居宅介護支援事業所連絡会	ケアマネジャー・民生委	4020	地活						
	49		包括	4020					4020
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

資料4-1

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおぞら会	3A（あかるく、あたまを使って、あきらめない）方式の介護予防事業。地域のボランティアが中心となり、体操やゲーム、太鼓の演奏などに挑戦し、ケアプラザまつりや地区センター歌声まつりで披露した。	毎月第2第4火曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント事業ボランティア登録研修会	初回は、現在ボランティア活動をしており、シニアボランティアポイントに登録されていない方に、登録の機会を設けた。 また、アンケートを行うことで、現在が活動している方の意識や感じていることを知ることができた。 2回目は、現在ボランティア活動をしており、新たに自主グループを立ち上げた団体からの要請で、シニアボランティアポイント登録研修会を開催することとなった。	4月1回 6月1回 9月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の教室	定年退職後の男性を対象に、引きこもりを防止し、地域住民として新たな関係作りを支援して行く。好きなことややってみたかったことを通して、地域に出るきっかけを作る。また各種講座で既存のボランティア団体の方との交流を図り将来的には活動の参加に繋げていきたい。 講座は、網戸の張替え、包丁研ぎ、おつまみ作りで乾杯、そば打ち体験。	6月2回 7月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の教室同窓会	今年6月から7月にかけて4回シリーズ（固定メンバー）で行った「男の教室」のフォローアップを目的として開催。 4回の講座を通じて形成された関係を維持ながら地域参加を促していく。 そのために、前回講座で協力いただいた講師の方々にも参加を呼びかけ、ボランティアを交えて交流することで、改めて活動について考えてもらう。 参加メンバーについては、前回講座終了時に同窓会の開催を提示し参加意思の有無をアンケートにより確認した。	10月1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいきシニア講座	平成28年度から南舞岡地区が担当地域に加わった。しかし、南舞岡地区からはケアプラザまでのアクセスが悪く、地域住民からは「ケアプラザで講座を開催しても参加することができない」との声が上がっていた。そこで、講座を開催したことのない南舞岡自治会館にて、終活や権利擁護に関する啓蒙・啓発活動を行うことを目的に開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 「生前整理」について ・第2回 相続・遺言について ・第3回 消費者被害について 	10月3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい (ふきのとう)	介護者同士で情報交換をしながら、日頃の苦労や経験、思いを語り合うことにより、介護者の心の負担を減らすことを目的に開催した。参加者が少なかつたため、各回とも参加者のお話を傾聴する会となった。	奇数月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいサロン	概ね65歳以上の方を対象にしたサロン月替わりにイベントを実施し、地域住民同士の交流、つながりづくりを図った。今年度より近隣の明治学院大学落語研究会との交流をはかり、大変好評であった。また、新たなボランティアの方が2名定着した。	毎月第4土曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン ～童唱会～	概ね65歳以上の方を対象としたサロン。皆で集り、歌を通して地域住民同士の交流を図った。また声を出して歌うことで介護予防も目的にしている。 前半は唱歌や童謡を合唱し、後半は講師による演奏会や地域団体の音楽鑑賞を行った。貸館の音楽サークルの発表の場としても機能した。今年度は舞岡小学校2年生との交流を2回行い、音楽劇や読み聞かせ等を披露してもらった。直接ふれあいお話が出来る時間を設け、とても好評であった。	毎月第1水曜日 (全12回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まいまいクラブ	親と子のふれあい、親同士の情報交換、仲間づくりなど場を提供した。子育て支援事業への参加案内等も行い、子育てに関する情報発信の場とした。 偶数月にはイベント（親子ヨガ、リトミック等）を行い、奇数月は自由遊びと読み聞かせを行った。自由あそびの月は全体的に参加者が少ない傾向にあり、夏祭りなどの大きなイベント月には参加者が集中した。	原則毎月第1木曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
草取りボランティア	ケアプラザを利用する地域や貸室利用団体等からボランティアを募り、敷地内の草取りや庭木の剪定などを実施した。終了後に貸室団体である「舞柏亭」の協力で、手作りうどんの会食も行い、地域住民同士の交流も図った。	5月、11月 (計2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
舞柏ケアプラザまつり	模擬店、各種イベント、展示等を行った。地域の幅広い世代の方々、団体に参加していただき、ケアプラザのPRにもつなげた。(約1000名来場)今回より地域の名産品が当たる抽選会を行い、祭りの終盤まで楽しんでもらう工夫を行った。	6月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学び場☆舞柏	未就学児～小学生を対象に体験型のイベントを開催し、地域の大人が講師となって各種教室（木工DIY・科学工作・革細工）を開催した。地域の子どもたちと地域の講師との世代間交流の場としても機能した。	7月、8月、1月 (計3回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設交流会	地域の作業所との共催。当事者の他、地域の方（貸館サークル団体や民生委員など）を招いたイベントを実施。当事者と地域住民との交流を通じて、障害の理解にもつなげた。（コンサート、芋煮会、AED講習）	8月、11月、2月 （計3回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	保護者と赤ちゃんの深いアタッチメントを形成するきっかけづくりを目的に開催。また同世代の子を持つ親同士の交流を通じて、子育ての不安や孤独を軽減することも目的とした。昨年と異なり、第二子の母親の参加が多かった。	9月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ケアプラザや地域でボランティア活動を行っている方を対象に、各々のボランティア活動の紹介や、意見交換を行った。ボランティアに必要な情報のミニ講座を行い、すぐ出来る脳トレ体操や体調の管理方法などをお伝えした。また、調理団体の方々にご協力をいただき、昼食のふるまいを行った。	11月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの広場	良いおもちゃに触れること、おもちゃで遊ぶことの大切さを伝えるために、主に木のおもちゃを利用した自由あそびと絵本の読み聞かせを行った。お父さんの参加があり、お父さんのニーズを聞いたことが成果だった。また、おもちゃの楽しさや大切さをお子さんだけでなくお父さん、お母さんへ知ってもらうことが出来た。アンケート結果から、普段ケアプラザを利用していないご家族が大半であったため、ケアプラザ事業の周知に繋がった。全体を通して和やかな雰囲気であったが、家族同士での遊びが中心で、参加者同士の交流が少ない印象であった。	2月（1回）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自分力アップ講座	子育て中の親のための3回連続講座。初回に「初めての出会い」をテーマに参加者同士が知り合うための自己紹介やアイスブレイクを行い、その後出た課題を学び合う予定であったが、参加希望者が集まらず中止となった。3回連続の講座はハードルが高かったと思われる。	0回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て連絡会	計画通り3回実施。今年度は従事者であるケアプラザ、区役所、とつとの芽三者の職員交代に伴い、参加者の皆さんとの関係作りから始まった。子育て情報の情報交換や公園あそびについての検討を中心に行った。公園遊びは地域の子育て支援者の皆さんを中心に行う予定であったが、予定した2回とも雨のため中止となった。そのため、3回目の会議では「とつか公園遊び全体交流会」の内容について情報共有を行った。他エリアでの公園遊びの情報を共有し、次年度の企画につなげた。	6月12月3月 (年3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
舞クラス	保護者の皆さんと主任児童委員、ケアプラザ職員との顔の見える関係作りの場となっている。個々のニーズも把握しやすく、保護者の方の要望にあわせた企画が出来た。保護者交流会では、学校や学年を超えての交流により少し先のイメージが湧き、参加者の安心感に繋がっている。講演会や施設見学会は、お子さんに合った進路についてや日々の接し方を考えるきっかけになっている。全体を通して、「生まれ育った地域で暮らしていく」事を考える機会になっていると感じた。	原則毎月第3木曜日 (全10回)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ドルフィン（共催事業）	今年度より、ドルフィン卒業生が見守りボランティアとして参加してくれるようになり、ドルフィンが定着してそうしたサイクルができたことが成果であった。夏休みの余暇支援の場として、子供たちにも毎年のイベントとして定着していた。職員としては、日限山地区の児童委員の方や活動の中心となるボランティアの方とつながりができたことが成果であった。つながりができたことにより、日限山小中学校の個別級の状況などについて情報交換ができるようになった。	8月（全3回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み冬休み自習室	夏休み、冬休み期間を通して自習室を利用した児童は0人であったため、自習室としての役割は果たせなかった。情報ラウンジは長期休み期間中も定期的に児童の利用があったため、自習室としてのニーズが現状地域にはあまり無かったと考えられる。次年度はより児童の関心のあるテーマで、世代間交流も実現できるようなフリースペースに転向したい。	夏休み、冬休み期間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のリフレッシュ講座	木工DIYでミニチュアを作る講座とそばうちの講座の2回を実施した。各回、これまでケアプラザを利用したことが無い方の参加が1名ずついた。また、事業への参加をきっかけに貸室団体への入会に繋がった方が1名いた。	10月12月（全2回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ文庫	特定の方が定期的に利用されることが多い。図書を目的として来館される方はいなかった。	通年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
舞柏フリースペース	放課後や休日の小学生の利用が大半を占めている。小学生向けの講座が開催される際には、受付職員が直接声を掛け、参加につながることもあった。	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸室団体交流会	各団体より、会の趣旨や活動状況の発表をしてもらい、その後貸室ルールの再確認をおこなった。普段交流する機会が無い貸室団体同士が、互いの活動内容を共有できた。また、貸室やケアプラザの施設全般に関して利用者の方々の意見を収集できた。	1 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理連絡会	調理室の清掃と、懇談会を行った。参加団体のみなさんが毎年の行事と認識してくださっており、調理室清掃はみなさん率先して自ら分担を決めてやってくださった。懇談会では、料理という共通の話題を通してケアプラザでの活動だけでなく自宅での料理についてなどにも話が及び、参加団体同士交流がいつそう深まった。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい伝言板	ケアプラザを利用する方々に、貸室利用団体の活動や地域情報を発信する場として活用した。今年度からは、貸室利用団体のメンバー募集の様式を作成し、募集中の団体に記入してもらい掲示をした。伝言板を見て「見学したい」などの問い合わせも数件あった。	通年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ホッとサロン	ケアマネジャー同士の交流や自主勉強の場として開催。インシデントプロセス法を用いた事例検討会を中心に、ケアマネジメントにおける情報交換やインフォーマル情報の提供なども行った。	6月、7月、12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイまいか塾	自分らしく生きるために、また家族のための情報提供の場として開催。「社協について」「在宅医療と訪問看護」「防災について」「相続・遺言について」「高齢者の住まい」地域に出た「認知症サポーター養成講座」など、これからの生活の中で選択していくために必要と思われる情報の提供を行った。	5月、7月、9月 11月、1月、2月 3月 (計8回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援事業所連絡会	エリア内のケアマネジャーと民生委員、区の担当者が参加。区地域包括ケア推進担当係長より「地域包括ケアシステム」についての説明を受け、その後グループワークにて地域の課題や今後地域に何が必要かを話し合った。その中で、インフォーマル情報の交換等が行われ、お互いの立場を考える機会にもなり、今後定期的にこのような機会が必要との意見があった。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数